

取扱説明書 (国内販売用)

スプレーガン W-50-BG

この取扱説明書に示された警告事項および注意事項は必ず守ってください。
 使用時に不用意に塗料が噴出したリ、有機溶剤の吸引により重大な身体上の障害を起すことがあります。
 △印付きの下部マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。
 △警告 警告内容を怠った場合、人が死に又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。
 △注意 注意内容を怠った場合、人が怪我を負う可能性、または物的損害の発生する可能性が想定されることを示します。
 この記号は、機械の性能や機能を十分に発揮して使用いただくために守っていただくための内容を示しています。
 向、本取扱説明書で示す安全事項は、必要最低限のものであります。
 国や自治体の消防、電気、安全関連の法規、規則、およびそれぞれの企業や事業所で規則、規定として守るべき事項に準じてください。

重要仕様

最高使用圧力	0.68MPa	使用品使用期間	5°C~40°C
騒音値	68.6dB(A)	ガン接続口径(塗料)	G1/4
吹付条件	推奨使用条件	ガン接続口径(空気)	G1/4
測定位置	スプレーガンより後方へ1m 地面より高さ1.6m	型	80 g

塗料の圧送供給を絶対に行わないでください。

主要仕様

形式	塗料供給方式	塗料ノズル口径φmm	適用空気圧	推奨使用条件		空気使用量 l/min	ハタ開き mm
				吹付空気圧 MPa	塗料吐出量 ml/min		
W-50-136BG	重力式	1.3	W-50-B6	※1 0.15	85	70	190

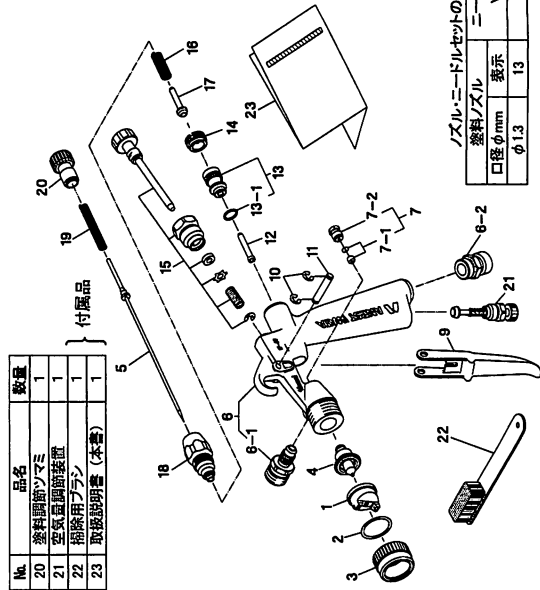
※1 吹付空気圧力は、引金を引き空気を通した時のスプレーガン入口部の圧力です。
 ※2 塗料粘度 12 秒NK-2 の自動車補修塗料用の数値です。
 ※3 ハタ開きは、吹付距離 150mm 時の値です。

部品名称

No.	品名	数量
1	空気キャップ	1
2	パッキン	1
3	カバー	1
4	塗料ノズル	1
5	ニードル弁セット	1
6	本体 Assy	1
6-1	塗料ノズル	1
6-2	空気ノズル	1
7	ニードル弁(イキセンセット)	1
7-1	ニードル弁(イキセンセット(I))	1
7-2	ニードル弁(イキセンセット)	1
9	引金	1
10	E形止め輪	2
11	引金止め輪	1
12	空気ホース	1
13	空気ホースセット	1
13-1	Oリング	1
14	空気ホースナット	1
15	パタン調整装置	1
16	空気弁ばね	1
17	空気弁	1
18	塗料ノズル	1
19	ニードル弁ばね	1

◆ 印部の部品は消耗品です。

No.	品名	数量
20	塗料調整ツミミ	1
21	空気調整装置	1
22	掃除用ブラシ	1
23	取扱説明書(本書)	1



塗料ノズル	塗料ノズル
口径φmm	口径φmm
表示	表示
13	13
III	III

ノズル・ニードル弁セットの場合

◎ 部品御注文の際は、スプレーガン形式、空気キャップセット、塗料ノズル、ニードル弁セットの刻印、及び上記No. 品名を御指定ください。
 ◎ 塗料ノズル又は、ニードル弁セットを交換する場合は、ノズル・ニードル弁セットの組み合わせで交換してください。
 ◎ 開封時、破損や欠品がないことを確認してください。
 ◎ 欠品、輸送上の損傷がある場合は危険防止のため使用せず、お買い求めになった販売店又は当社支店・営業所・サービス会社までご連絡ください。

状況	発生箇所	チェック箇所	原因	締め直し	調整	洗浄	部品交換
塗料漏れ	スプレーガン先端部	塗料ノズル	シートのゴミ、キズ、塵埃 塗料調整ツミミの締めすぎ ニードル弁ばねのへたリ	〇	〇	〇	〇
		塗料ノズル ~ 本体	締め付け不良 シートのゴミ、キズ	〇	〇	〇	〇
塗料出す	ニードル弁 パッキン部	ニードル弁/パッキンセット ~ニードル弁セット	ニードル弁/パッキン押しの締め付けすぎ ニードル弁セットへの塗料の固着による ニードル弁セット外周不良	〇	〇	〇	〇
		ニードル弁/パッキンセット ~ニードル弁セット	塵埃	〇	〇	〇	〇
	スプレーガン 先端部	塗料調整ツミミ	固着不足	締め付け不良	〇	〇	〇
		塗料ノズル	孔の詰まり/ゴミ/固着	〇	〇	〇	〇
空気漏れ (空気キャップセット先 端からの)	空気弁 空気弁セット部	空気弁	シートのゴミ、キズ	〇	〇	〇	〇
		空気弁セット部	シートのゴミ、キズ 空気弁ばねのへたリ	〇	〇	〇	〇
		Oリング	劣化、キズ	〇	〇	〇	〇

保証と修理サービス

・保証期間は、お買いあげの日から6ヶ月です。
 ・万一、故障の場合は、お買いあげの販売店又は、当社支店・営業所・サービス会社にご連絡ください。

保証期間中は、無償修理いたします。

・本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償など二次損失に対する補償は致しませんのでご了承ください。

・取扱説明書の注意事項を守られなかったことによる故障および損傷

・お客様の取扱上の不注意による故障および損傷

・消耗品の交換・修理

・天災、地震、火災、地震、水害、落雷、公害などによる故障および損傷

・補正部品以外の部品が使用されている場合

・指定の修理店以外による修理がなされている場合

・保証は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan

【お問い合わせ窓口】

・修理・保守に関するお問い合わせ
 アネスト岩田コーティングサービス株式会社

(お問い合わせ先は当社ホームページをご確認ください)

・技術的なお問い合わせ、ご意見、ご希望など
 当社支店・営業所又はお客様相談室までご連絡ください。

(支店・営業所のお問い合わせ先は当社ホームページをご確認ください)

お客様相談室

0120-917-144

FAX 045-591-1137

※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

(受付時間 月～金 9:00～17:45 土・日曜、祝祭日、夏季休暇、年末年始を除く)

安全にご使用頂くための警告事項

警告

火災と爆発

- 吹き付け作業時は、火気厳禁です。
塗料は引火性があり火災の危険性があります。
ただし、点火、電気機器等、引火の恐れがあるものは必ず避けた上で使用ください。
2 次のハロゲン化炭素系塗料は使用しないでください。
化学反応により、本体(アルミニウム部分)にクラック、溶解が発生します。
・適合溶剤: 塩化メチル、塩化エチル、二塩化メチル、二塩化エチル、四塩化炭素、トリクロルエチレン、1,1,1,1-テトラクロロエタン等
(特殊な塗料やシンナーは必ず適合性を検討した上でご使用ください。適合性検討のための材質リポートを提出する用意があります。)
- スプレーガンには必ずエア輸入ホースを使用する等、確実にアースを接続してください。
アースが不十分ですと、静電気のスパークによる火災、爆発の危険性があります。



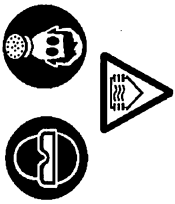
機器誤用

- 絶対に人や動物に向けてスプレーしないでください。
目や皮膚の炎症、人体への危険があります。
- 最高使用圧力以上でのご使用は絶対に避けてください。
2 常に適切な服装または保護具を着用してください。(眼鏡、マスク、手袋)
- 目や皮膚に洗浄液等がつかず炎症を起こします。
目や皮膚に異常を感じたら直ちに医師の治療をうけてください。
3 健康安全上耳栓の着用をお奨めします。
使用条件、作業環境により、騒音値が80dB (A) 以上になる場合があります。

人体保護

- 製品の改造はしないでください。
十分な性能が発揮できないはかりか、故障の原因となります。
- 他の装置(ロボット、レシプロ、等)の作動範囲内で作業をする場合は、装置の停止を確認してから行ってください。
ロボットやレシプロとの接触でけがをすることがあります。
- 食品用や化学薬品用には使用しないでください。
塗料通路内部の腐食による事故発生や異物混入による健康被害の可能性がります。
- 異常を見たら直ちに使用を停止して原因を調査してください。異常が解決されるまでは再使用しないでください。

その他



接続方法

注意

- エア・ラインやエア・ツインガスを通したきれいな圧縮空気を使用してください。
塗装作業に使用する空気が汚れていると、塗装不良を起します。
- 購入後初めてご使用の場合は、塗料通路内部の防錆油を取り除くため、シンナーを吹いて内部の洗浄を行ってください。
防錆油が残っていると、はじき等塗装不良の原因となります。
- ホース、塗料容器は、スプレーガンにしっかりと固定してください。
- ホースのはずれ、容器の落下により、人様に傷害を及ぼす可能性があります。

- 作業 1 エア・ホースは空気、ツインガ、塗料容器は塗料にツインに接続します。
- 作業 2 吹付空気をスプレーガンへ供給します。
- 作業 3 塗料容器にシンナーを入れ吹付けを行いスプレーガン等の塗料通路をシンナーで洗浄します。
- 作業 4 塗料容器に塗料を入れ、塗料の試し吹きを行い、空気量、塗料吐出量、ノズル幅を調節します。

調節方法

- 作業 1 吹付空気圧力は塗料の粘度、性質により異なりますが、概略 0.1~0.2MPa の範囲に設定します。
- 作業 2 塗料粘度は、塗料の性質、作業条件により異なりますが、粘度カウチ(NK-2)で 10~18 秒程度が適当です。
- 作業 3 吹付距離は 50~150mm の範囲でできるだけ近づけて塗装してください。

保守・点検

警告

- 安全にご使用頂くための警告事項の機器誤用3項に従い、圧力を完全に逃がしてから作業してください。
- 十分理解され、熟達された方が行ってください。

保守時の作業手順

- 残った塗料を他の容器に移した後、塗料通路及び空気キヤップの洗浄を行います。塗料通路の洗浄は少量のシンナーを吹付けて行います。
- 各部の洗浄はシンナーで浸したラップで行い、エア等でふき取ります。
- 分解する前には塗料通路内部を十分洗浄します。
- ニードル弁パッキンを調節する時は、ニードル弁セットを挿入したまま一旦、手で締め込みます。手で締め込んだ所からスパンで再度締め込みます。
- スパンで締める目安は、手で締めて止まった所から1/6回転程度です。

重要

- 洗浄不足はパッキン形状や粒子の不具合の原因となります。特に液塗料を御使用の際は素早く入念に洗浄してください。
- スプレーガン全体をシンナー等の液中に浸さないでください。長時間浸漬した場合は、構成部品の損傷の原因となります。なお、洗浄時には空気キヤップ、塗料ノズルの各噴出口及びニードル弁セットは絶対にキズを付けないでください。
- 塗料ノズルを外す時は、シュー下部保護のため引金を引き、ニードル弁セットを引いた状態で行ってください。
- ニードル弁パッキン押しは締め過ぎるとニードル弁セットの動きが悪くなり塗料の先端噴射の原因となります。スパンを引くなら、ニードル弁セットの動きを確認しつつ、調節してください。
- 締め過ぎでしまった時は、ニードル弁パッキン押しを完全に緩めてから、もう一度締め直してください。
- ニードル弁セットの先端は射利な針状です。取扱いには必ず注意してください。尚、塗料調節ガイドベツトは強力が分解しないでください。
- ニードル弁セットを挿入しない状態で各部品を本体に組み込むと空気弁の割れにより塗料調節ガイドベツト内のリファブッキンを損傷する場合があります。
- 全開でない、パッキン調節装置及び空気量調節装置の先端が本体セット先になぶつかり、損傷の原因となります。

点検箇所	部品交換基準
1 空気キヤップセットおよび塗料ノズルの各穴の通路	づぶれ、変形がある場合は交換
2 パッキン、オリフシ短	変形、磨耗の場合交換
3 塗料ノズル、ニードル弁セット間のシュー補れ	塗料ノズル、ニードル弁セットの洗浄を十分行っても、磨れがある場合交換
	塗料ノズル組品、ニードル弁セット単品で交換する場合は取り合わせを実施し磨れがないことを確認してください。

パターン	原因	対策
	1) 塗料ノズルと本体のシュー部分間より空気が入る。 2) ニードル弁パッキンセットからのエア吸込み。 3) 塗料容器取付けナット又は塗料ホース継手部よりの空気の吸入	1) 塗料ノズルを外しシュー部分を清掃した上で再度取付けてください。尚、シュー部分にキズがある場合は塗料ノズルを交換してください。 2) ニードル弁パッキンセットの締め直しを行ってください。 3) 継手部の射付けを確かめ完全にしてください。
	1) 角孔 (ナット先端の角部) 突っ込み時に塗料等の成形物が詰まり角孔からの空気の強さが異なる。	1) 角孔の成形物を除去してください。この際、付属の掃除用ブラシを使用し、金属粒のものは使用しないでください。
	1) 塗料ノズルの外周及び空気キヤップセット中心に成形物が付かたより	1) づみ、成形物が付着している場合は、除去してください。又、キズがある場合は、その部品を交換してください。 2) 塗料ノズルを外し、シュー部分を清掃した上で再度取付けてください。
	1) 塗料吐出量が低すぎる。 2) 塗料吐出量が多すぎる。	1) 塗料原液を追加し、粘度を高目に調節してください。 2) 塗料調節ノズルを数回噴出量を少なくしてください。又は、パッキン調節装置を右に回しパッキンを締め直してください。
	1) 塗料吐出量が多すぎる。	1) うすめ液を追加し粘度を低目に調節してください。 2) 塗料調節ノズルを左に回し吐出量を多くしてください。
	1) ノズル、ニードル弁セットの不具合。 2) 一部が、(空気)の噴出量の減少。 3) 空気キヤップセットの射部の塗料汚れ。	1) 洗浄又は、ノズル、ニードル弁セットの交換をしてください。 2) ノズル、ニードル弁セットの交換をしてください。 3) 空気キヤップセットの洗浄をしてください。
	パッキン	

